



2025年4月24日

各 位

会 社 名 株式会社フジタコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 遠藤 大輔
(コード:3370 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員MA推進室室長
高橋 高行
(TEL 0144-34-1111)

蔬舒純植生活飲食有限公司と包括業務提携のお知らせ

当社は、台湾企業の蔬舒純植生活飲食有限公司(本社:台湾、代表取締役:陳明煜(Peter Chen)、以下 純植社)と包括業務提携することをお知らせいたします。

記

純植社は、台湾国内で植物由来の原材料を使用した食品や加工食品を取り扱うフードテック企業で、豆乳ブランドの「NOT JUST SOYA」を展開しています。当社は純植社の豆乳および大豆製品の取り扱い、日本国内で高まる豆乳需要に新たな選択肢を提供、純植社は当社が製造する「トワ・ヴェール」ブランドの乳製品を台湾国内で販売する予定です。

【提携に至った背景】

近年の健康志向や環境意識の高まりを背景に、日本国内では植物性食品への関心が急速に拡大しており「豆乳」は幅広い世代から支持を集めております。当社は外食のみの事業から食全般に係わる事業方針のもと1次産業、2次産業への参入を進めており、生産から販売まで「食」をテーマに6次産業化を目指しております。また同時に北海道企業として道産ブランド製品を海外へ展開することを進めております。そういった背景で日本へ進出したい台湾のフードテック企業である純植社と提携することに至りました。

【提携の戦略的意義とビジョン】

本提携により当社は『NOT JUST SOYA』の販売・マーケティング・ブランディングを日本国内で展開し、成長が続くプラントベース市場において他社との差別化を図ります。

特に、食品テクノロジーやサステナビリティに関心を持つ消費者層をターゲットに据え、日本国内の飲食業界や小売市場に新たな価値を提案します。

また、食の技術融合を進める両社の強みを活かし、地域や企業を巻き込んだ循環型ビジネスの創出も視野に入れていきます。

日本市場向けに最適化した製品ラインアップの展開を皮切りに、製造から販売までの製販一体型のビジネスモデルを構築し、飲食店・小売業者とのパートナーシップ拡大や、イベント・キャンペーンによる認知向上施策を推進。将来的には、北海道産大豆を使用した豆乳の製造・販売を視野に入れております。持続可能な社会の実現に貢献する次世代型豆乳ブランドとして、『NOT JUST SOYA』の価値を日本の消費者に広く届けてまいります。

【蔬舒純植生活飲食有限公司（台湾）】概要

台湾の先進的な食品技術を活かし、プラントベース製品や植物性ドリンク、教育研修を通じて循環型エコシステムを構築し、持続可能で低炭素な社会の実現を目指すフードテック企業。持続可能な社会の実現を目指し、循環型経済の考え方を企業文化の中心に据えた店舗運営、そして国際的な視点と現代的な価値観を取り入れた、次世代型プラントベースの商品企画や店舗開発を展開。

主な商品／サービス

プラントベース製品開発、植物性ドリンク、プラントベース料理、プラントベース教育研修コース。

現在展開中のブランド：

【プラントベースレストランブランド『fifteen』】

台湾産オーガニック・無農薬の良質食材を厳選。創造的なフュージョン料理で妥協のない食事体験を提供し、トレンド感ある「ニュープラント・クオリティ」料理を提案。

【プレミアム豆乳ブランド『NOT JUST SOYA』】

100%植物由来で製造されたプラントベースミルクを展開している純植社オリジナル豆乳ブランドです。プレミアムな台湾産豆乳を使用し、独自の蒸煮製法によって、国内最高水準のタンパク質含有量を誇るなど、味と栄養面の良さと、なめらかで上質な口当たりを実現。

台湾では卸事業としても実績があり、味覚と栄養のバランスに優れた商品として高く評価されており、また、台湾の「工業技術研究院（ITRI）」や「食品工業研究所（FIRDI）」と連携し、従来廃棄されていた大豆の搾りかす（豆粕）を再利用するなど、環境への配慮と資源循環の仕組みを取り入れ、SDGsにも貢献しています。



■ 蔬舒純植生活飲食有限公司（台湾）

住所：台湾新竹県竹北市文興路 205 号 302050

代表取締役社長：陳明煜（Peter Chen）

設立：2020 年 11 月

資本金：20,000,000 台湾ドル

【今後の見通し】

現時点において、本件が当社の業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以 上